

一般質問通告事項【3月4日(水)】《3日目》

令和2年第1回松江市議会定例会

順序	14	議員名	河内 大輔	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	3月4日	
質問項目	質問要旨						
1	情報発信について	(1)	アプリぎゅっと松江の活用策と運営方法について	(2)	松江市のホームページのリニューアルについて		
2	学校教育について	(1)	Society5.0時代の教育について	(2)	ICT機器の利活用について	(3)	校務等の効率化について
3	子育てについて	(1)	AI コンシェルジュについて	(2)	第2子の保育料半額、第3子の保育料免除について	(3)	保育士の働き方の現状と処遇改善を進めていくことについて
4	市立病院について	(1)	病棟を削減したことについて	(2)	職員の辞職と働き方、人材育成について		
5	まちづくりについて	(1)	大手前駐車場と南殿町の再開発の検討状況について				
6	スポーツ推進計画について	(1)	計画の進捗状況と今後の運用について				
7	トイレ整備計画について	(1)	計画の進捗状況と今後の運用について				

順序	15	議員名	田中 明子	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	3月4日	
質問項目	質問要旨						
1	人口減少対策について	(1)	松江市の人口動態について ア 昨年の転入と転出の人数を男女別、年代別に伺う。 イ 転出理由を伺う。	(2)	「地域おこし協力隊」について ア これまでに受け入れた隊員の男女別の人数と定住率を伺う。 イ 実績や取り組みの状況を伺うとともに、活動への評価や課題を伺う。 ウ 新年度の応募状況を伺う。	(3)	松江市で働く外国人労働者について ア 人数、国籍、職種等、雇用状況を伺う。

一 般 質 問 通 告 事 項 【3月4日(水)】《3日目》

令和2年第1回松江市議会定例会

順序	15	議員名	田中 明子	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	3月4日
質問項目	質問要旨					
1 人口減少対策について	イ 言葉や文化の違いなどでトラブルになるケースを聞くが、本市において生じた問題点と解決策について行政としての対応を伺う。 (4) 女性は進学や就職で地元を離れると、結婚・出産後も戻らないと言われるが、どんな理由があり、どんな対策が必要と考えるか伺う。					
2 災害対策について	(1) 新型コロナウイルス対策 ア 保健所内に電話相談窓口が開設されたが、相談状況を伺う。 イ 相談は非常事態であることから、24時間体制にすべきではないか。 ウ 高齢者や重症化リスクの高い人への対応をすべく医療機関や高齢者施設での感染防止対策についての現状と対応を伺う。 (2) 災害時におけるトイレ問題 ア 「トイレトレーラー」の導入検討への所見を伺う。 (3) 防災対策に女性の視点を ア 東京都が作成した女性視点の防災ブックを本市でも作成できないか、所見を伺う。 イ 防災会議の委員に占める女性委員の割合の政府目標は30%だが、本市の実態を伺う。					
3 学校保健安全法施行規則について	(1) 学校保健安全法施行規則による健診体制について ア 全学年で実施すべき年1回の耳鼻科健診が隔年になったのはいつからか、また他の科についてはどうなのか伺う。 イ 松江市における耳鼻科医の人数を伺う。 ウ 児童・生徒数が減少している昨今、健診が実施困難となった背景と現状を伺う。 エ 文科省から法令に従った健康診断をするよう促されているが、今後どのように対処されるか伺う。					

順序	16	議員名	篠原 栄	(個人質問)(一括方式)	質問日(予定)	3月4日
質問項目	質問要旨					
1 移住・定住の取り組みについて	(1) 東京圏では24年連続の転入超過となっている。逆に松江は若い世代の転出が続いている。そこで都会地から人を引き寄せるため、拠点をつくり都会地で移住・定住の取り組みを積極的にすべきではないかと思うが伺う。					
2 成年後見制度について	(1) 成年後見制度の利用促進計画をどのように策定しているのか。また中核機関の設置など具体的な体制整備や、専門機関との連携、マッチングの仕方、後見人支援の内容、地域連携の協力体制について伺う。					

一 般 質 問 通 告 事 項 【3月4日(水)】《3日目》

令和2年第1回松江市議会定例会

順序 16	議員名 篠原 栄	(個人質問)(一括方式)	質問日(予定)	3月4日
質問項目	質問要旨			
3 教科担任制の導入について	(1) 小学校における教科担任制を導入すると聞いている。その背景と特徴・課題について伺う。			

順序 17	議員名 橋 祥朗	(個人質問)(一括方式)	質問日(予定)	3月4日
質問項目	質問要旨			
1 国民健康保険について	(1) 国保料の減額を求める市民の声は根強い。基金額は類似市と比較して高額ではないか。基金の原資は国保料であり、基金の使いみちに市民の声を生かすべき。 (2) 子どもを均等割から除外する市町村が増えており、国に働きかけると同時に市独自の施策として検討すべき。必要な予算は約6,000万円で、実行不可能な額ではないと考えるがどうか。			
2 東京一極集中について	(1) 第二次総合戦略では人口減少対策として「若者・女性がもっと暮らしやすいまち」をめざして等を重点項目として様々な取り組みが打ち出されているが、第一次総合戦略での人口減少対策がどうだったのか、効果と課題の簡潔な総括を求める。 (2) 人口減少対策は、地方の努力と合わせて、東京一極集中の是正がなされなければならない。しかし、政府省庁の地方移転、民間企業の本社機能の移転なども掛け声倒れて進んでおらず、繁栄する東京と疲弊する地方の構図は変わらない。現状を市長はどう考えるか。			
3 ガス局労使問題について	(1) 11月議会で、ガス局におけるハラスメント問題の私の質問に対して渡部ガス局長は「強権的な対応は承知していない」と答弁した。しかし労使間の調整会議で「ハラスメントの事実認定」をしたことが、12月9日、渡部局長に報告がなされている。経過を承知している局長の答弁は不誠実と言わなければならないがどうか。 (2) 職員組合(ユニオン)から県労働委員会へ斡旋申請がなされている、11月議会での、労使間の不正常な関係の改善を求めた質問に対して、渡部局長は、「労働協約に基づき適時対応している。民営化についても正確な情報を伝え、職場環境の向上に努める。」と答弁した。しかし報道によればハラスメントの相手方への干渉や組合役員の辞退強要など、労使間の関係は改善されていないではないか、見解を求める。 (3) 労使間のこのような状態の中で、ガス事業の民営化は中止すべきと考えるがどうか。			
4 原発問題について	(1) 東電福島第一原発で増え続ける放射能汚染水を除去設備で処理した後のトリチウム(三重水素)を含む汚染水。国の小委員会が「海上放出の方が確実」とする報告書を大筋で承し、地元の漁業者などから強く反対する声があがっている。体内に取り込まれたトリチウムは遺伝子を傷つけ、結果先天異常や死産などが起こることも指摘されている。汚染水の海上放出について、松江市はどのように考えているか、見解を求める。			

一般質問通告事項【3月4日(水)】《3日目》

令和2年第1回松江市議会定例会

順序	17	議員名	橘 祥朗	(個人質問)(一括方式)	質問日(予定)	3月4日
質問項目	質問要旨					
4	原発問題について	(2) 伊方原発で1月に、①原子炉容器で燃料固定装置を引き上げようとした際、制御棒1体がつりあげたままになっていた。②使用済み燃料プール内の燃料をクレーンでつりあげ移動させた際点検用ラック枠に接触させ、落下の信号が誤発信した。③電源喪失で核燃料プールの冷却が43分間停止した、などトラブルが続いた。電源喪失などは重大事故につながるトラブルと考えるが、今回の伊方原発のトラブルについてどのように考えるか、また情報収集をどのように行っているか。				
5	そば対策について	(1) 減反対策や荒れ地対策として、そばの作付けが奨励されて耕作面積も広がっている。国の補助制度は削減されたが松江市の補助制度などを頼りに作付けが進められている。しかし、近年収穫量が減少傾向で、今後について不安や対策を求める声が寄せられている。そこで、そば栽培の現状、補助制度の拡充、および、耕作放棄地対策としてのそばも含めた農作物の品目増など対策を問う。				
6	児童虐待、松江市の現状について	(1) 警察庁の2019年の犯罪情勢(暫定値)の発表によれば、虐待の疑いで児童相談所に通告した18歳未満の子どもは97,842人(前年比で17,590人増)、警察が摘発した児童虐待は1,957件(昨年比577件増)、通告児童数は過去5年で約2.6倍とのこと。昨年的一般質問で、松江市では重大な事件は発生していないとのことだったが、対策を含めて、現状を問う。				
7	C-2部品落下問題について	<p>(1) C-2配備後3年、部品落下の報告が続いている。多くは1センチ程度のビス等となっているが、繰り返されており部品も発見されないままとなっている。これまでにどれほどの部品落下となっているか伺う。</p> <p>昨年12月には、幅10センチの鉄板が落下し、1月には原因と改善策が発表されているが、この部品も発見されていない。異常ともいえる部品落下についてどのように考えているか、見解を問う。</p> <p>(2) 12月の鉄板落下原因について、ハイライトピンの疲労破壊と報告されている。まだ3年で、使用されている2センチほどのハイライトピンが劣化しているとは信じがたい。同時に直径を太くするなどの改善策が打ち出されているが、適合していない部品が使用されていたこととなる。原因の究明を求める。</p> <p>(3) 基地との共存を強いられている八束町では、町内全域が飛行コースの真下。これまでも要望してきたが、学園、住宅密集地の上空を避けての飛行を強く求める。同時にこれ以上の軍事的強化となる新たな空中給油機の配備には反対されたい。考えを伺う。</p>				

一 般 質 問 通 告 事 項 【3月4日(水)】《3日目》

令和2年第1回松江市議会定例会

順序	18	議員名	細木 明美	(個人質問)(一括方式)	質問日(予定)	3月4日
質問項目	質問要旨					
1 島根原子力発電所について	<p>(1) 島根2号機「再稼働」へのキーワードは何なのか。</p> <p>ア 規制委員会による適合性審査が完了し、次の段階へと進んだとき、松江市が「再稼働」という結論を出すには何がキーワードになるか。</p> <p>(2) 伊方原発3号機「運転差し止め」を命じた司法判断について</p> <p>ア 国の安全審査に合格し再稼働した原発に対し、司法が不十分だと判断し停めてしまうという事態を市長はどう思われるか。</p> <p>(3) なぜここに発電所があるか。なぜ原子力が必要なのか。</p> <p>ア 原子力の必要性について市長の考えを伺う。</p> <p>(4) 「安心・安全」そして地域貢献と共生のまちづくりを求めていく。</p> <p>ア 電力会社には、50年以上の長い歴史と信頼を積み重ねてきた、そしてこれからも積み重ねていく地域のために何ができるかを常に考えて欲しい。共に生きる、共生のまちづくりへの取り組みに対し市長の考えを伺う。</p>					
2 グレードの高いホテルの誘致について	<p>(1) 高級ホテル建設に関する情勢</p> <p>ア 訪日外国人を呼び込むにはハイグレードなホテルが必要との考えが主流にあるようだ。この点について地方への高級ホテルの進出や国の取り組みへの感想を含め市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 松江市への高級ホテルの誘致、なぜ松江市には高級ホテルがないのか。</p> <p>ア なぜ松江市には誘致できなかったのか。グレードの高いホテルが進出してくれなかったのはなぜか。</p> <p>また現在、松江市に外資系などのハイレベルのホテル進出の予定はあるか。</p> <p>イ 松江市にも宿泊に特化したブティックホテルやリゾートホテルがあるべきではないか。</p> <p>(3) インバウンドの推進とインバウンドの危うさ</p> <p>ア 米子空港の国際便休止による松江市内の観光関連産業への影響について現在の状況は。</p> <p>イ ワールドクラスの松江を目指し、早急に積極的な誘致を進めていただきたいと思うが見解を伺う。</p>					
3 相次ぐ北朝鮮のものと思われる船の漂着について	<p>(1) こうした漂着事案はいったいどのくらいあるのか。昨年1年間、ここ数年といった統計があれば伺う。</p> <p>(2) 松江市として何か動くことはできないのか。</p> <p>(3) 海岸の警備は大丈夫なのか。どのようになされていて、それで十分なのか。</p> <p>(4) 国の対応強化を望む。市長の考えを伺う。</p>					

一般質問通告事項【3月4日(水)】《3日目》

令和2年第1回松江市議会定例会

質問項目	質問要旨
<p>順序 19 議員名 宅野 賢治 (個人質問)(一括方式) 質問日(予定) 3月4日</p>	
1 放課後児童クラブについて	<p>(1) 新年度の待機児童数と発達障がい児等の入所利用状況数の推移について 新年度の放課後児童クラブにおける待機児童数と発達障がい児、発達障がい疑われる児童等 含めて受け入れている市内児童数の登録状況は、どのような推移となっているのか現状を伺う。</p> <p>(2) 放課後児童クラブにおける障がい児に関する支援体制について</p> <p>ア 障がい児に関する支援員への支援内容と充実について</p> <p>(イ) 放課後児童クラブにおける障がい児への支援の内容は、受け入れ該当児童に対して、支援員を加配するかどうかの審査がなされているが、それ以外に、支援員に対して、松江市から該当児童への個別指導・助言の対応について、どのような具体的な支援方法の内容や充実がなされているのか伺う。</p> <p>(ロ) 入所審査時の関わりだけでなく、支援員が関わり方を適切に対応するためにも受け入れ後が大切である。障がい児への支援策の充実強化を図るべきと再度提言するが見解を求める。</p> <p>イ 県と市の新規配置予定の巡回支援員アドバイザーの違いと役割分担について 松江市は、新規に巡回支援員1名の専門的アドバイザーを設置、島根県も、新規に放課後児童支援員スーパーバイザーを配置し、放課後児童クラブの質の向上などを推進するとされている。支援施策が混在しているとすれば現場では混乱を招く要因ともなりかねないが、この支援施策の島根県と松江市との違いと役割分担の整理がなされているのか伺う。</p> <p>ウ 現行の障がい児受け入れシステム改善と専門的知識を有する支援員の派遣について</p> <p>(イ) 年度当初に障がい児が入所される場合は、本来の職員数に障がい児への「加配」配置ということが、就学前時期に指定管理者へ知らされ急遽、限られた短期間に支援員を募集し追加増員を確保しなければならないのが今のシステムである。加配判断時期をもっと早期に変更するなど現行の仕組みを改善すべきであると提言するが見解を求める。</p> <p>(ロ) 今後、放課後児童健全育成事業における障がい児の受け入れを更に推進するためには、厚生労働省の障害児受入推進事業の選択肢の一つに示されているように、市が専門的知識等を有する支援員を直接雇用し、放課後児童健全育成事業を行うものに対して派遣し常勤配置する方法など障がい児を対象とする専門的な支援施策(専門施策)の制度設計も検討すべきであると提言するが見解を求める。</p> <p>(3) 放課後児童クラブの運営形態と支援員の人材確保策について 「放課後児童クラブ支援員」の人手不足が深刻化しており人材確保に苦慮されているところである。支援員の長期的に安定した形態の雇用体制確保策について具体的に工夫を凝らして早期に検討し構築していかなければ待機児解消と子育て支援拡充策の推進に繋がらないと考える。 本市の現行の運営形態による課題対応とこれまでの市長施政方針の中でも支援員の安定雇用策の検討を進めるとされてこられたが現況と児童クラブが抱える人手不足問題を解決に向けての糸口について改めて見解を伺う。</p>

一 般 質 問 通 告 事 項 【3月4日(水)】《3日目》

令和2年第1回松江市議会定例会

順序	議員名	宅野 賢治	(個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	3月4日
質問項目		質問要旨			
1	放課後児童クラブについて	<p>(4) 島根県の方針を受けて松江市の放課後児童クラブ施策対応について</p> <p>ア 児童クラブの設置及び運営は、子ども・子育て関連3法による児童福祉法の改正により、国が定める基準（放課後健全育成事業の設備及び運営に関する基準）を踏まえて、市町村が条例で定めるものとされており、利用方法など実施主体は市町村の判断となるので、今次の島根県の放課後児童クラブ支援の新規・開設時間拡充内容方針などをどう捉えられておられるのか伺う。</p> <p>イ 例えば姫路市のように、長期休暇中仕事が休みになる給食調理パート職員に声をかけスタッフを確保して毎年30名程度の募集に応じてもらい、開設時間を前倒しするなど工夫をされているが、本市の場合は、地域性があるために個々の児童クラブに利用開所時間はお任せされるのか。松江市としては、今後どう利用開所時間の延長など対応していかれるのか伺う。</p>			
2	松江市の電子行政のプラットフォーム構築について	<p>(1) 松江市のデジタル化への基本方針・対応と今後について</p> <p>ア 今後の松江市として働き方改革と市民利用者視点での「デジタルファースト」への取り組みの基本方針と対応についてどのようにお考えなのか伺う。</p> <p>イ 具体策として ①LINEを活用した問い合わせ対応、AIによるQ&A方式など ②アプリによる広報誌の提供 ③個別のアプリのほか包括的に利用出来る「総合ポータル」として導入 ④手書き文字などを読み取って手入力作業の効率化などによるデジタル化する窓口業務の効率化 ⑤オンライン上で行う電子申請システム運用などデジタル化が必要な業務は多岐にわたりデジタル化は大きな可能性があるとしてされている。松江市は、どのような現状であり、今後どの分野・業務事業へ具体的に検討実施を目指されているのか伺う。</p>			
3	交通系 IC カード導入について	<p>(1) 交通系 IC カード導入への検討進捗状況について</p> <p>松江市地域公共交通網形成計画など公共交通関係の各種計画には、バスカードシステムに代わる交通 IC カードシステム導入を施策実施項目として掲げておられる。平成31年度市長施政方針でも交通 IC カード導入可能性の検討を進めるとも述べられている。より具体的な導入に向けて検討されていると推察するが、検討進捗状況と具体的な内容と導入予定時期など伺う。</p>			